

## 【22\_258技術系メルマガ】値動きが『節目』にしっかり当たるのを確認する理由

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

基本的なトレードを実践する人のほとんどは、押し目買い・戻り売りを狙うことを戦術としていると思います。

僕も例に漏れずそうなのですが、ここでよく議論になるのは

自分が意識している節目のライン(MA、その他インジ)に対して、プライスがしっかり当たるまで待つか？

それとも、ちょっと届いてないだけなのであれば、その辺での切り返しを想定してエントリーするか？

これは人によって意見が分かれることが多いですね。

この点については、どちらが絶対正しい！なんてことはない という前提で僕の考えを言わせて貰うと

僕は『ライン・MAにしっかり当たる』のを待ちます。

□  
└─ ■ なぜ、KUROは『しっかり当たる』を意識するのか

この点については、先日Twitterでもイメージ図を付けて僕の考えをツイートしました。

▼当時のツイート▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1569145314296365056?s=20&t=RH96gH-vm0ALBGJv9NZ1VQ>

これは、僕が過去に何度もメルマガで言及してきたことでもあります

僕がトレードにおいて最も重要視しているのは『とにかく想定と違ったときの損を小さくすること』です。

だから、僕は『建値移動』を積極的に行うし、エントリーした時点で前もって損切り位置が決まっております。

なるべく、その位置の近くまで深く引き付けてエントリーする事を徹底しているのです。

それでも、なるべく想定通りに動くと考えられる所で一貫してトレードしないといけないので

『短期足のセットアップ』と『長期環境に基づく目線』は最も大事な要素のひとつです。

これらのテクニカルを最大限性能を発揮し、自分の望むパフォーマンスを得るために

僕は一つの最適解(と、考えられるもの)として、『損失を最小化』するために

【意識した節目にしっかりプライスが当たる(その後作るチャートパターンに注目する)】

を重要な基準として捉えているわけです。

もちろん、この基準が万能なわけではないし、当たりが甘くても

そこでエントリーして、勝ち負けを積み重ねていく考えを否定するものではありません。

重要なのは、「なにがたまたましいのか」ではなく、自分が『どんな基準なら納得して一貫し続けられるか』なのです。

これも繰り返しお伝えしている通り、トレードにおいて最も根本的に重要な考え方は

自分の決めた基準・ルールに対する『一貫性』です。

これは、エントリーの仕方ではありません。

利確・損切りの仕方、1回に負うリスクの幅、今日題材とした『節目に対するプライスアクション』

自分がエントリーから決済にいたるまでの、“あらゆる判断”において、自分が事前に決めた基準と一蓮托生であること。

ここまでやり切って初めて、トレードにおいて『同じサイコロを振り続ける』状態になっているということです。

どんなやり方でもいい。僕のやり方と逆であっても全然構わない。

ですが、一度自分がそのルールでやり続けると決めたなら、そこにはしっかり筋を通してその後出てくる結果を受け容れる 覚悟 を持って臨みたいものです。

僕もこの文章を書いているなかで、改めてその意識を強く持とうと決心した次第です。